

【数字を読み解く】 「1位」

～「じゃらん宿泊旅行調査 2023」の総合満足度における大分県の順位～
<2023/12/12 大分合同新聞掲載>

数字は、じゃらんリサーチセンターが公表した「じゃらん宿泊旅行調査 2023【都道府県魅力度ランキング編】」の総合満足度部門における大分県の順位だ。この調査は、宿泊旅行の実態把握のために、22年度の宿泊旅行実施者を対象に行われた調査である。

本調査では、大分県の順位は前回調査の10位から1位へと大きくジャンプアップした。じゃらんリサーチセンターによれば、「コロナ禍を経て、宿にゆっくり滞在する旅からアクティブな旅の需要が戻る中、温泉を軸に持ちながらも、まち歩きコンテンツを多く擁する点が評価された」とのことである。

大分県は、総合満足度のほかにも、「魅力的な宿泊施設があった」「良い宿・ホテルがあったから」「魅力的な温泉があったから」の順位も1位となっており、温泉旅館などでの魅力的な宿泊体験が、観光客の強い支持を受けていることが分かる。

このほか、大分県が上位になった項目としては「ご当地ならではの体験・アクティビティが楽しめた(3位)」「子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった(8位)」などがあり、地獄めぐりやトレイルツアー、テーマパークなど、大分県の特徴を生かしたアクティビティが評価されている模様である。

「大分県観光統計」によると、10月の宿泊客数は19年比マイナス2.7%と概ねコロナ前の水準に回復しており、観光地にもにぎわいが戻ってきている。他方、宿泊事業者からは「深刻な人手不足に悩まされている」との声が聞かれている。一部では、従業員の負担を軽減するため稼働を制限している宿泊施設もみられている。

コロナ5類移行後初めてとなる年末年始を迎えることとなり、宿泊客数の回復基調が続くことが期待される。今後も大分県の主力産業の一つである観光業の動向について、宿泊施設における人手確保や生産性向上の取り組みと合わせ、注目していきたい。(日本銀行大分支店)。